

# 第35期 短期経営計画書

期間：2010年9月21日～2011年9月20日



## 第35期短期経営計画の発表にあたり

第2次中期経営計画「ELEVISION' 10」【2005.9.21～2010.9.20】の最終年である34期は経営理念である『大夢・創造・実現』を果たすため社員が一丸となって邁進したが、厳しい経済状況下に於いて期首に設定した、受注高・完成工事高・営業利益とも目標数字に達する事が出来ませんでした。

しかし5期連続で完成工事高・営業利益とも数字を残す事が出来たのは、目標に向かって最後までやり遂げる社員の努力による賜であり感謝しております。

「ELEVISION' 10」を総括すると、『経常利益を毎年前年比5%以上を達成する』目標に対しては32期は目標数値をクリア出来ましたが、34期は日本の経済成長率がマイナスに変位する中、前年の経常利益を上回る事は出来ませんでした。又『経営能力の強化を図り、優れた集団を結成する』『KATSUDENグループ全社の経営指導を強化する』ことに関しては、社員のスキルアップと資格取得に対する積極的な取り組みが見られ、各個人・各部門で考えても優れた集団を結成することが出来、グループの一員としてしっかりと実績を上げられたと考えます。

今期より第3次中期経営計画「ELEVISION' 15」【2010.9.21～2015.9.20】が策定され、又新しい第一歩を踏み出しました。、経営方針である3つの骨格『社会に貢献する企業をめざします』『信頼に応える技術力をめざします』『夢の実現をめざします』は全社員の前向きな創造力とたゆまぬ努力で成し遂げる物であり常に『選択と集中』を行い、変化に対して迅速に対応し且つ新たなチャレンジを推し進めなければ簡単に達成出来るものではありません。これから先も勝利者であり続けるためには、皆様方のご協力と「KATSUDENグループ」の結束によりこの難局を乗り切っていきたいと考えております。

2010年9月21日

株式会社勝電ユニテク

取締役社長 小柳雅義

# 経営理念



## ELEVISION'15

### 経営基本方針

### 第三次中期経営計画到達目標

#### 社会に貢献する企業をめざします

- 社会への貢献は企業の責任である
- 社会への貢献は企業価値を高める
- 社会への貢献は次世代を創造する

#### I 企業に求められる社会的信用の追及

1. 営業受注力の安定化
2. 地域社会への積極的参加
3. 環境を配慮した施工

#### 信頼に応える技術力をめざします

- 技術力は信頼を勝ち取る武器である
- 技術力は個人と企業の財産である
- 技術力は企業を守り発展を支える原動力である

#### II EMPowerMENTの優れた人材の育成

1. 基礎技術の伝承
2. 最新技術の強化
3. 管理能力の向上

#### 夢の実現をめざします

- 夢の実現は社員のモチベーションとなる
- 夢の実現はお客様の最大のメリットとなる
- 夢の実現は企業の新たな夢を創造する

#### III 大夢に向かっての邁進

1. 個々の目標を設定
2. 目標達成に向けての指導
3. ハイリターンの実現



## 第35期 短期経営計画重点項目

- ・『**選択と集中**』による**受注量の確保**を第一優先とし各部門で設定した目標受注高をクリアする
- ・営業情報の共有化と、コネクションを最大限に活かして一歩リードした営業受注活動の強化・社用車燃料費の3%削減(年間)
- ・環境を考慮した省エネルギー提案による新規受注

- ・『**Frontier**』による社員の意思統一と経営者となる『**Reader ship**』の資質を教育・施工管理、原価管理、安全衛生管理のレベルアップを図り『**Professional**』かつ『**Specialist**』への社員育成
- ・電気理論/見積積算のレベルアップ(受注金額の交渉に至るマスターツールとしての位置づけを明確にする)
- ・最新の施工技術を全社的に取り込む
- ・下記法的資格の取得と特別教育への参加  
1級施工管理\*\*名、2級施工管理\*\*名、第一種電気\*\*名、第二種電気\*\*名、第三種主任技術者\*\*名、消防設備士甲四種\*\*名、建設業経理士1級\*\*名、建設業経理士2級\*\*名、秘書検定2級\*\*名

- ・『**グループ会社全社員の結束力を強化**』し夢の実現を図る・指導者は夢に信念を持って熱く語る人財となる
- ・各社員の目標に対しての指導と成果に関して信念を持って評価する(年2回)
- ・営業利益に関して前年比5%UPを目標として成果報酬としてのハイリターンを実現させる

- ・グループ内行事の出席率を高め、『**結束力の強化**』と連帯意識を高める(全社員出席)
- ・業務効率を上げて時間の有効活用を図る

## 人財の推移

 株式会社勝電ユニテック		31期	32期	33期	34期	35期	
		自	2006/09/21	2007/09/21	2008/09/21	2009/09/21	2010/09/21
		至	2007/09/20	2008/09/20	2009/09/20	2010/09/20	2011/09/20
社員総数		16	19	22	20	21	
役員	社長・会長・取締役・監査役	3	3	3	4	4	
	執行役・支店長	1	1	1	0	0	
管理部門	経理・総務・庶務・管理・営業	3	3	4	4	4	
施工部門	工事部長以下・設計等	9	12	14	12	13	
資格所持者数		31期	32期	33期	34期	35期	
監理技術者資格者		6	6	6	7	9	
1級電気施工管理技士		7	9	8	9	10	
2級電気施工管理技士		2	2	1	1	2	
第一種電気工事士		8	11	11	10	12	
第二種電気工事士		3	4	4	4	4	
第二種電気主任技術者		0	0	0	0	0	
第三種電気主任技術者		2	2	2	2	2	
建設業経理士1級		1	1	1	1	2	
建設業経理士2級		1	1	1	1	2	
消防設備士 甲種四類		0	0	1	0	3	
電気通信工事担当者(アナログ・デジタル総合種)		0	0	0	0	0	
電気通信工事担当者(アナログ第1種)		0	0	0	0	0	
電気通信工事担当者(アナログ第2種)		0	0	0	0	0	
電気通信工事担当者(デジタル第1種)		0	0	0	0	0	
電気通信工事担当者(デジタル第2種)		0	0	0	0	0	
電気通信工事担当者(デジタル第3種)		0	0	0	0	0	
危険物取扱者乙種四類		0	0	1	1	1	
危険物取扱者丙		0	0	0	0	0	
日商簿記 1級		1	1	1	1	1	
日商簿記 2級		0	0	0	0	0	
第一種衛生管理者		1	1	1	1	1	
秘書検定 1級		0	0	0	0	0	
秘書検定 2級		0	0	0	0	1	

### 第35期の資格新規及び上級資格取得への挑戦

一級電気施工管理技士	1名	二級電気施工管理技士	1名
第一種電気工事士	2名	第二種電気工事士	1名
第三種電気主任技術者	1名	消防設備士甲四種	3名
建設業経理士一級	1名	建設業経理士二級	2名
秘書検定二級	1名		

#### 上記法的資格の取得と特別教育への参加を奨励する

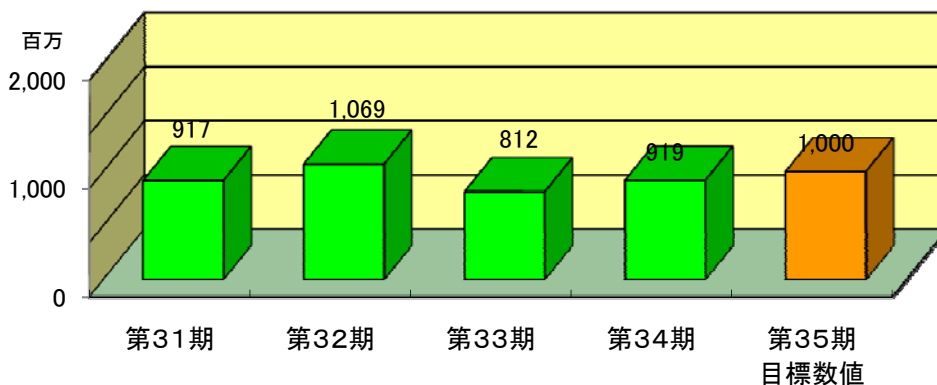
資格手当合格祝い一時金の特例(期間限定)を実施する  
2011年3月まで(合格発表猶予3ヶ月含)

## 損益等の推移

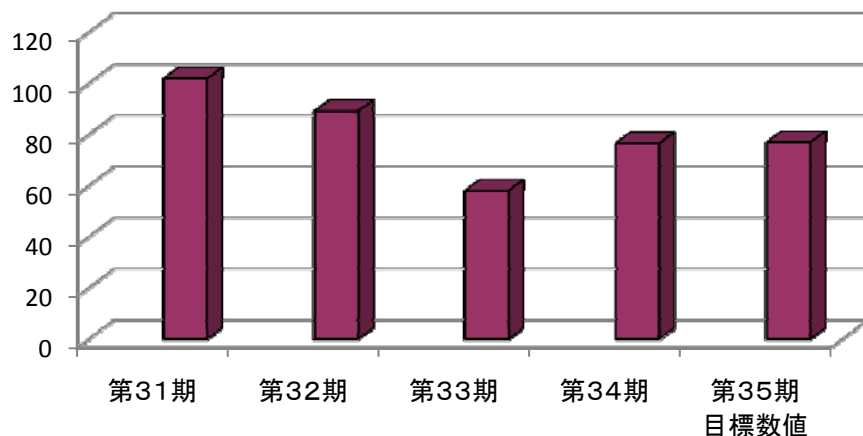
(単位:千円)

項目	年度	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期 目標数値
受注高	高	1,192,488	714,836	1,003,771	723,164	1,000,000
完成工事高	高	916,870	1,068,539	811,848	918,748	1,000,000
完成工事原価	原価	785,625	973,341	706,857	799,105	850,000
売上総利益	利益	131,245	95,198	104,991	119,642	150,000
一般管理費	費	77,156	79,666	77,015	89,594	80,000
営業利益	利益	54,089	15,532	27,976	30,048	70,000
営業外収益	益	5,270	3,353	5,815	4,279	5,000
営業外費用	用					
経常利益	利益	59,359	18,885	33,791	34,327	75,000
特別利益	利益	969	1,604	1,284	1,070	1,000
特別損失	損失	18,151	121	148	194	100
税引前当期利益	利益	42,177	20,368	34,927	35,202	75,900
施工部門総員数		9	12	14	12	13
施工部門一人当たり完成工事高		101,874	89,045	57,989	76,562	76,923
施工部門一人当たり経常利益		6,595	1,574	2,414	2,861	5,769

### 完成工事高の推移



### 千円 施工部門1人当たりの完成工事高

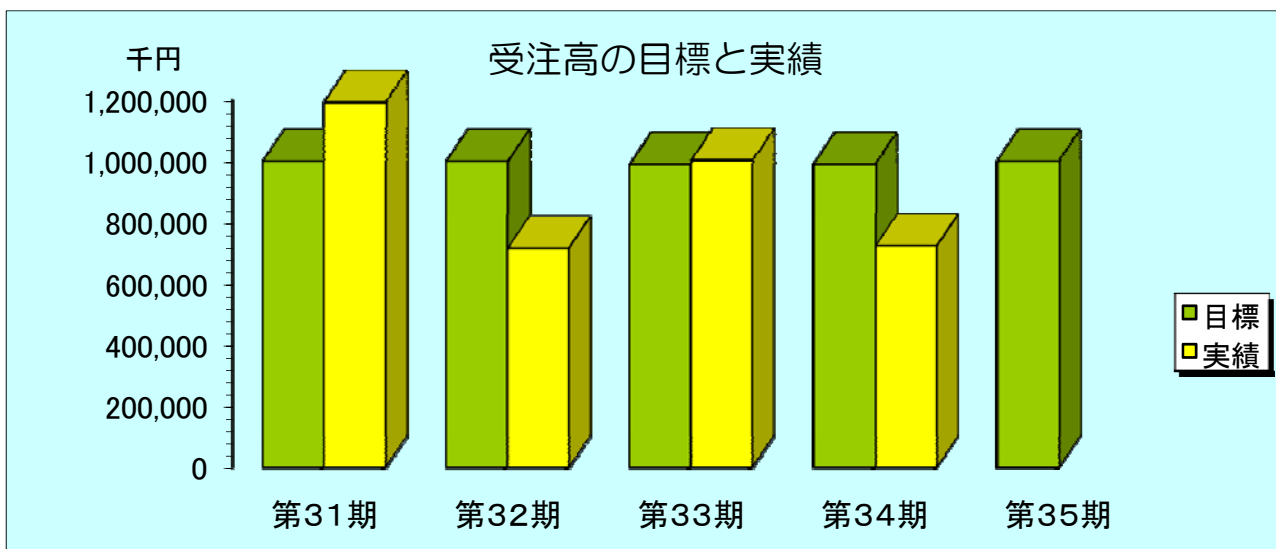
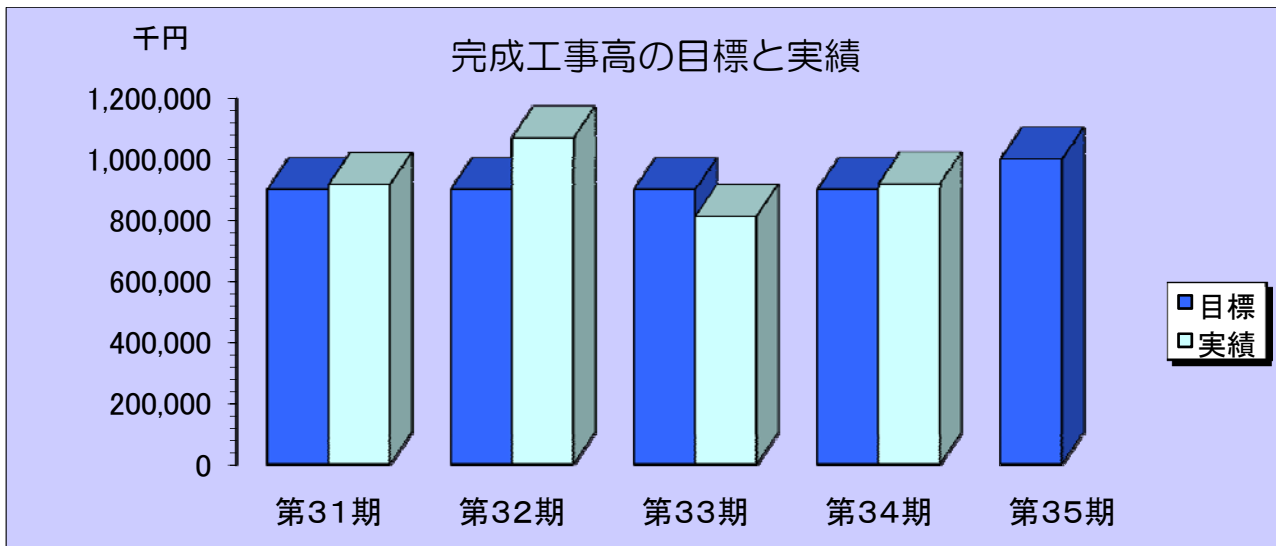


# 過年度の目標額と実績の差異

(単位:千円)

		過年度実績	過年度実績	過年度実績	当期実績	次期目標値
		第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
完成工事高	目標値	900,000	900,000	900,000	900,000	1,000,000
	実績	916,870	1,068,539	811,848	918,748	
	差異	16,870	168,539	-88,152	18,748	

受注高	目標値	1,000,000	1,000,000	990,000	990,000	1,000,000
	実績	1,192,488	714,836	1,003,771	723,164	
	差異	192,488	-285,164	13,771	-266,836	



# 顧客別完成工事高の推移

(単位:千円)

顧客別過年度完成工事高	過年度実績	過年度実績	過年度実績	当期実績	次期目標値
	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
官庁関係(県・市町村)	5,420	6,465	9,076	199,626	105,000
独立行政法人	200	122	67,307	48,009	40,000
(株)関電工千葉支店	298,079	544,055	338,285	431,942	352,000
(株)千葉ケイテクノ	10,050	8,950	9,400	9,000	10,000
JFEエレテック(株)	22,327	51,412	36,362	12,232	-
加瀬電機(株)	5,700	600	920	38,380	10,000
その他	32,707	32,331	88,500	33,856	155,000
日本中央競馬会中山競馬場					-
勝田電設工業(株)／川重関連	74,474	243,618	159,951	80,853	125,000
勝田電設工業(株)／ヤマト化学	866	3,809	1,645	354	-
勝田電設工業(株)／石井商事	329	5,311	7,010	2,598	40,000
勝田電設工業(株)／官庁関連	146,668	891	2,900	832	10,000
勝田電設工業(株)／その他	251,868	121,622	69,337	53,813	95,000
勝田電設工業(株)／地中線東京	18,647				-
勝田電設工業(株)／成田関連	16,913	13,723	8,745		8,000
ゼブラ(株)				5,096	20,000
納品・その他	32,623	35,630	12,409	2,154	30,000
完成工事高 合計	916,870	1,068,539	811,848	918,748	1,000,000

## 第34期 顧客別完成工事高

■ 官庁関係(県・市町村)

■ 独立行政法人

■ (株)関電工千葉支店

■ (株)千葉ケイテクノ

■ JFEエレテック(株)

■ 加瀬電機(株)

■ その他

■ 日本中央競馬会中山競馬場

■ 勝田電設工業(株)／川重関連

■ 勝田電設工業(株)／ヤマト化学

■ 勝田電設工業(株)／石井商事

■ 勝田電設工業(株)／官庁関連

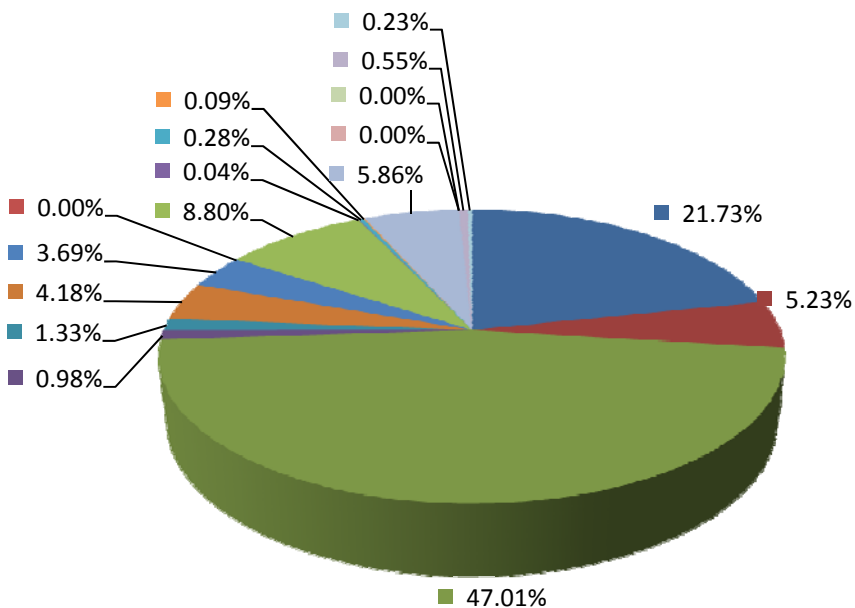
■ 勝田電設工業(株)／その他

■ 勝田電設工業(株)／地中線東京

■ 勝田電設工業(株)／成田関連

■ ゼブラ(株)

■ 納品・その他



# 第34期 短期経営計画検証結果 【期間：2009.09.21～2010.09.20】

**経営理念** 大夢・創造・実現  
DREAM/CREATE/REALIZE

**経営方針**

- ・社会に信頼され貢献する企業をめざします
- ・信頼に応える確かな技術をめざします
- ・人と技術で夢のある経営をめざします

重点実施項目	目標(1年目の実績目標)	具体策	リーダー
1. 企業に求められる社会的信用の追及		<ul style="list-style-type: none"> <li>●『選択と集中』により受注量の確保を第一優先とする</li> <li>●工事原価検討書より工事原価を1%以上削減</li> <li>1-1. 受注・完成目標を設定し、全社員が目標達成の為の営業戦略・施工体制を具体化する(各部門から次年度の短期計画書を提出、2010年8月)</li> <li>1-2. 各支店間で連携をとり、受注量と地域性を考えて現場担当者と協力会社の配置を行う。(MGM会議にて調整)</li> <li>1-3. 工事原価検討書の内容と『実施工との差を無くして』利益の覧に数字が入る労務費・資材費の適正化を図る</li> <li>1-4. 下請負契約に関する発注ルールの厳守</li> <li>1-5. 受注目標と完成工事高の見直し予想を図る(毎月の経営会議にて)</li> <li>1-6. 管理者は工事担当者に各現場単位での損益を報告(会社への貢献度)</li> <li>1-7. 施工VE検討会を随時実施する(現場着工前にて、受注金額1,000万以上の物件で施工内容の難易度の高い物件は必ず実施)</li> <li>1-8. 資材の適正管理を図るEco Project(資源の有効利用と再利用)(仮設資材の有効利用)</li> </ul>	社長 部長
2. 経営能力の強化を図り、優れた集団を結成する		<ul style="list-style-type: none"> <li>●KATSUDENグループ『Frontier』による意識改革</li> <li>●施工監理、原価監理、安全監理のレベルアップ・プロフェッショナルかつスペシャリストへの育成</li> <li>●電気理論/見積積算のレベルアップ(受注金額の交渉に至るマスターツールとしての位置づけを明確にする)</li> <li>●一級施工管理、二級施工管理、一種電気工事士、二種電気工事士、消防設備士(甲種)、建設簿記2級、法的資格の取得と特別教育への参加</li> <li>2-1. 優れた集団の中でプロフェッショナルやスペシャリストとして能力を発揮しその成果を通して組織に貢献できる人材を育成</li> <li>2-2. 自社・他社の失敗例から対策を全社員が学習し同じ失敗を二度と繰り返さない(MGM会議・部門会議)</li> <li>2-3. 電気理論/見積積算の講習を年3回実施</li> <li>2-4. サブコン、メーカー実施の技術教育研修に参加</li> <li>2-5. 免許取得可能者のリストを作成し、資格取得に向けて指導とバックアップを図る</li> </ul>	部門長 部門長 部門長 部門長
3. グループ会社の経営指導を強化する		<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ会社の『結束力の強化』</li> <li>●経営体質と体制の強化を図り、経常利益前年比5%以上UP</li> <li>3-1. KATSUDENグループ間での人財交流を図る</li> <li>3-2. グループ各社の経営者・管理者との定期的な会議の実施『情報の共有化を図る』(1回/月)</li> </ul>	役員 役員
4. その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>4-1. ノー残業デーの実施(毎週水曜日を会社で決めた定時退社日とする)</li> <li>4-2. 屋外研修の計画</li> <li>4-3. 安全大会の計画</li> <li>4-4. 海外研修の計画</li> <li>4-5. 第三次中期計画書の策定</li> </ul>	部門長

上期計画表(10～3月)						下期計画表(4～9月)					
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>■全社員が期首に受注・完成目標を共通認識し、受注する為の営業戦略及び施工体制に関して年間を通して『選択と集中』を行った</p> <p>■34期の目標数字に対する結果は別紙参照</p> <p>■34期の総括並びに35期の短期計画書を2010年4月に提出し、次年度に備えた</p> <p>■グループ各社間の連携により資材購入(ケーブル・変圧器)に関する一括購入及び現場担当者の配置を行った</p> <p>■工事予算超過物件に関しては、...</p> <p>■2009年4月1日付け通達の『下請負契約に関する発注ルール』を全社的に推し進め、標準化を図った</p> <p>■毎月の経営会議にて受注金額及び完成工事の報告及び見直しを実施</p> <p>■毎月開催のMGM会議にて新規受注物件の情報交換を行った</p> <p>■今期完成工事物件に関する工事管理台帳を回覧(9月初旬)</p> <p>■...</p> <p>■各部門で有効活用を図った</p> <p>■特異性のある技術に関して、部門長が講習を行いスペシャリストとなるべく人材を育成</p> <p>■MGM会議出席者による人材育成に関する実績度確認...</p> <p>■MGM会議/部門会議にて各現場で発生した事故を報告し、対策を検討水平展開を図った</p> <p>■全社的に集まった講習会を開催することが出来なかったが、各部門単位で日常の業務として担当上司が指導</p> <p>■...</p> <p>■...</p> <p>■業務(現場単位)を通して人財交流を図った</p> <p>■KATSUDENグループの経営者間で毎月定期的な会議を実施</p> <p>■ノー残業デーの意識はあるが、年度末及び繁忙期に関しては実施出来ていない</p> <p>■2009年9月25日・26日 草津屋外研修実施23名参加</p> <p>■2010年5月17日 城東カッパン安全大会実施113名参加</p> <p>■2010年6月5日・6日 軽井沢実施54名参加</p> <p>■2009年6月21日～2009年11月10日 MGM会議にて策定し、経営会議にて了承</p>											

